

花火を楽しく安全に！

はじめに

夏の風物詩といえば？そう、花火です。皆さんも自宅前やキャンプなどで花火をする機会が増えるのではないのでしょうか。

子どもたちにとっては夜に遊ぶことができ、また、大人公認の火遊びですから、大変楽しいものだと思います。

しかし、この楽しい花火も使用方法や注意事項を守らないと大きな事故や火災につながります。

花火とは？

花火といっても花火大会などで使用される本格的なものから、おもちゃ屋やコンビニなどで購入でき、子どもたちでも手軽に遊ぶことができるおもちゃ花火、玩具花火と呼ばれるものまで、多種多様です。

しかし、やはり火薬を使っているため、使用、消費する火薬の量は法律で厳しく規制されています。

花火による火災発生状況

神戸市内では平成 14 年中、花火による火災が 13 件発生しており、そのほとんどがおもちゃ花火、玩具花火と呼ばれるものが原因となっています。

どんな火事か起こったのか？

今まで発生した花火による火災の事例を紹介します。

- 1 路上で打ち上げ花火を上げたところ、花火の火の粉が共同住宅 2 階のベランダに置いていた衣類に着火し、マンションの外壁と周囲の物品 洗濯機と衣類を焼損し、消火中に家人が負傷した。
- 2 屋外で家族そろって花火を楽しんでいた小学生が両手に 2 本の花火を持って振り回したところ、手から離れた 1 本が近くにいた幼児の衣類に触れ、着衣着火した。

以上のほかにもいろいろな事例があります、例えば

- 路上で行った花火の火の粉で他人の庭の芝生を焼損
- ロケット花火の火の粉で雑草や車を焼損
- 玩具用回転花火(トンボ花火)の紐が切れて飛んでいき雑草を焼損
- 風にあおられた線香花火の火の粉で雑草を焼損
- ロケット花火では公園の芝生 400 平米、トンボ花火では屋外に置かれたパラソル 80 本、椅子 18 脚が焼損したことがあります。

すべてに共通していえることは少し注意すれば火災を防ぐことができたということです。

安全に楽しく遊ぶコツ

花火を安全に楽しく遊ぶためにも次のことに注意してください。

- 1 強風時や空気が乾燥している気象条件下では花火をしないこと。
- 2 子どもたちだけで花火をしない、させない。また、必ず大人が付き添い、燃えやすいものがある場所を避けて花火を楽しみましょう。
- 3 花火を分解したり、複数本束ねて火をつけるなどしないこと。火薬が一度に燃えて大変危険です。
- 4 水の入ったバケツを用意し、確実に消火すること。燃えカスに火が残っていたことに気付かずゴミ箱に捨てて、火災になったケースがある。
- 5 説明書、注意書を必ず読むこと。思いもよらない方向や距離まで飛んでいってしまい、火災となる場合がある。

おわりに

花火は美しく、楽しいものです。
せっかくの楽しい夏休み。ちょっとした不注意から事故や火災を起こさないよう、必ず注意書を読み、マナーとルールを正しく守って花火遊びを楽しみましょう。
楽しい花火遊びを通じて子どもたちにマナーやルールを教えるのは大人の役目です。

消防

ページ作成者とお問い合わせ先 神戸市 消防局 予防課